

わたしたちが運ぶのは未来です



運輸省



みなと しみず

発行所

第五港湾建設局

清水港工事事務所

〒424 静岡県清水市日の出町7番2号

TEL 清水 <0543>52-4146 (代)

清水港に

テクノスーパーライナー



寄港した「飛翔」 (清水港日の出埠頭)



TSLのコックピット

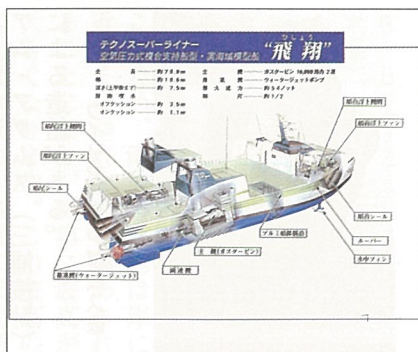
運輸省が中心となり、我が国造船界の技術を結集し開発が進められている次世代の超高速貨物船「テクノスーパーライナー」(TSL)の実海域実験船「飛翔」が、8月29日清水港に寄港した。

当日は、清水市消防音楽隊の演奏が待ち受ける中、歓迎の式典が日の出埠頭で行われ、TSLの姿を一目見ようと多くの人々が集まった。

翌30日の午前9時からマリニビルにおいて関係者へのTSLの説明会が開かれ、その後、船内見学会が行われた。船内見学会には、当清水港工事事務所からも所長が参加したが、乗組員から「船体は自重を軽くする為アルミ船体構造となっている。双胴型船体と船首尾に設けられたシールにより囲まれた空間に空気を吹き込み、船体を浮かせる。エンジンにはジャンボ機と同じ。

推進機はウォータージェットでスクリューはない。」等の説明を受け、見学者はそのハイテク技術に目を見張った。同船は30日正午、千葉に向けて出航した。

今回の寄港は、実験基地であった長崎から次の実験基地となる千葉へ向かう長距離運航の試験の中で行われたものであったが、近い将来には、清水港に貨物を積んだTSLが入る日が来ることを期待したい。



《TSL》
開発目標

- 速度 50ノット (93 km/h)
- 貨物積載量 1000トン
- 航続距離 500海里 (930 km) 以上
- 耐航性 波浪階級6程度

今回の実海域実験船「飛翔」は、全長70.0m、幅18.6m、1590トンあり、ほぼ実船の1/2の大きさです。

● 五建局長異動



木本 局長

第五港湾建設局長が7月18日付けで異動になり、江口肇前局長から新しく木本英明局長が港湾局計画課長から就任しました。
なお、江口前局長は、社団法人日本海洋開発建設協会常務理事に就任されました。

● 五建技術次長異動



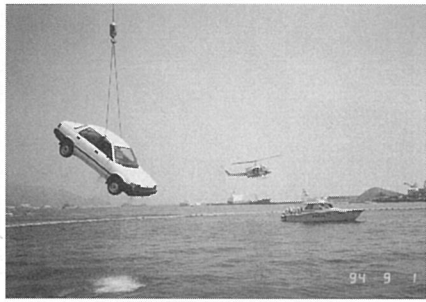
高橋 次長

第五港湾建設局技術次長が8月1日付けで異動になり、武藤昭光前次長から新しく高橋誠次長が航空局建設課長から就任しました。
なお、武藤前次長は、財団法人民間都市開発推進機構の港湾部長に就任されました。

● 防災訓練行われる

「防災の日」の9月1日東海地震を想定した防災訓練が各地で行われた。当事務所においても、御前崎工場、下田工場を含めた全職員による訓練を実施した。

訓練は7時00分の本局からの「判定会招集」の第1報で始まり、警戒宣言の伝達訓練、災害応急対策訓練などを行った。また、海上においては、当所所属の監督測量船「ふじ」と「しもだ」のSSB無線を経由して、五建本局(名古屋)から本省(東京)までの気象情報等の伝達訓練が実施された。
また同日は、清水市をメイン会場とする静岡県の総合防



救助訓練 (日の出埠頭)

日の出埠頭前面の海上では、津波により多くの人が海に流されるなどの被害を想定し、ヘリコプターがおぼれている人を救助、収容した。岸壁周辺では、海底に沈んだ乗用車

防災訓練も行われ、市内の五つの会場ではそれぞれテーマを持って訓練が実施された。

を捜査船が捜し出し。クレーン車で吊り上げるなど、清水海上保安部、県警、海上自衛隊などが連携して、大掛かりな訓練が行われた。

昭和51年に「東海地震」が発表されて以来、いつ来てもおかしくないと言われていた行動をとるには、日頃からの訓練が大切です。常に、防災に対する意識を持って日常生活を行うことにより、被害を最小限に食い止めることが出来るのではないのでしょうか。
(庶務課労務厚生係)

静岡県の港シリーズ(十一)

伊東港

▼伊東市

「伊東」の地名は、一説では「湯いづる国」伊豆の東に位置するところから起こったとも言われているが、応徳2年(1086)狩野四郎太夫家次が狩野から出て伊東の庄に移り、伊東と名乗ってから伊豆の豪族として勢力を強めていった。この頃から「伊東」の地名が世に知られるようになったと言われている。
伊豆半島を南北に貫く天城連山を背に、宇佐美火山と先原火山の裾合いに位置する。市街地は、松川両岸の沖積地に発達している。

今日、伊豆と言えば温暖で風光明媚なところ、伊東と言えば湯の街と言われるほど全国に知られており、近年の発展はこれら自然に利するところが大きな力となっている。

温泉観光業、漁業、農業が一体となって、経済活力や産業構造が形成されている。

▼沿革

伊東港は、産業面はもとより観光面にも重要な役割を果たしている。観光船等の大型化、海洋レジャーの需要拡大に対処するため、昭和55年度に既設の桟橋を拡張、延長することにより、大型船の発着が容易になった。



伊東港

さらに、東松原地内に船だまりを設けるため、昭和56年度から防波堤(A)の建設に着手、昭和61年度までに船揚場、物揚場が完成した。また、船だまりの静穏度を保つため、防波堤(B)も昭和63年度に完

成した。

現有の係船施設は、岸壁(4.5m)536m、物揚場(4.5m)80m、観光桟橋(4.5m)100m、が整備されている。

伊東港の取り扱い貨物は、水産品並びにセメントや重油の化学工業品が主で、平成5年の取扱量は、12万7千トンを超えている。

▼白石MTP

白石マリンタウンプロジェクトは、昭和63年第五港湾建設局、静岡県、伊東市が構想を策定したもので、新しい観光都市伊東の創造を目指し、観光や商業施設を中心とした「アミューズメントエリア」やマリナー等が計画されている。現在、県、市により公共マリナーの整備が進展しつつある。

▼ウイリアム・アダムス

伊東における近世初頭の出来事としては、英国人ウイリアム・アダムス(三浦按針)による造船がある。

ウイリアム・アダムス像



アダムスがオランダの東洋遠征船隊に加わって、ロッテルダムを出航したのは1598年である。この船隊がマゼラン海峡を通って、まもなく太平洋上で難破し、アダムス航海士乗船のリーフデ号は豊後(大分)の海岸に漂着した。時は天下分け目の戦いが行われていた1600年の事である。

アダムスは、後に家康の外交顧問となり、家康から領地として相模国三浦郡逸見村に250石を与えられ、三浦按針と称した。按針とは、水先案内(現在の航海士)が羅針盤を案ずる意味である。



安針祭の海上花火大会

1605年に家康の命を受けて、伊東の松川下流、唐人川のとおりで西洋型帆船を建造したが、これは我が国で初めて作られた洋式帆船である。按針が作ったのは2隻とされており、うち1隻はノビスパニア(現メキシコ)まで航海している。

また、1605年から始められた江戸城の大増築のとき、石垣として使われた大石は、伊東をはじめとする伊豆半島東海岸の各地で採石され運ばれたものである。

(W・F窓口)

御前崎港湾利用者懇談会開催される

御前崎港振興会(鈴木惣七会長)は、9月9日御前崎町中央公民館において、運輸省第五港湾建設局企画課長、同清水港工事事務所長、静岡県土木部港湾担当参事、同御前崎土木事務所長らと、今後の御前崎港の港湾整備に関する意見交換を行うことを目的に、利用者懇談会を開催した。

懇談会は、振興会及び国県町の関係者40名が出席し、振興会の各代表者5名(御前崎町、荷主、船社、商工会、港運業)による意見陳述をもとに、国、県と活発な意見の交換が行われ、有意義な場となった。

〈各代表者の主な意見〉

- ・日本の経済基盤は港湾整備であり予算獲得に全力でとりくむ
- ・超高速船「TSL」の誘致とターミナルの整備
- ・アクセス道路の整備促進
- ・コンテナふ頭の整備及び貨物の集荷、コンテナ船の誘致

- ・港内静穏度を高めるための防波堤の整備促進
- ・夜間照明、駐車場等利便施設の整備
- ・地元活性化につながるマリナーズの早期完成
- ・海上交通アクセスと旅客パターンの整備
- ・新港湾計画の漁場喪失に対する漁業関係者への配慮

国、県では、利用者の意見、要望等を検討し、今後策定する第9次港湾整備五ヶ年計画(平成8年度〜12年度)に反映させる考えである。

(御前崎工場長 柴原行弘)

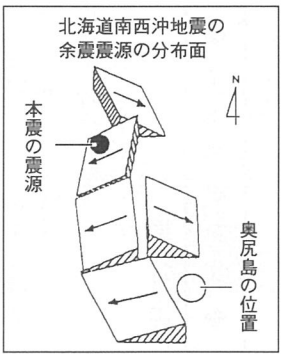


津波の話

津波は日本語が世界語になった数少ない例であり、それほど日本は津波の被害が多いことを物語っています。津波の津とは港の意味であり、津を襲う波として名づけられたと言われています。

海域で地震が発生した場合、海底の隆起・陥没に対応して、その上にある海水が持ち上げられたり、引き下げられたりして、急激な海面の変位が生じます。この変位が波長の長い伝播性の波として周囲に広がり津波となります。津波の発生原因のほとんどが地震によるものです。

地震は、地下の岩盤が広範囲にわたって破壊する現象で、かなり広い範囲で表れるものです。津波を発生させるような地震の震源域は数10kmから数100kmに及びますが、その領域が一瞬にして破壊されるわけではなく、岩盤の一カ所から破壊が進行します。北海道南西沖地震では、余震を含めて5つの断層が140km×40kmの広範囲で断層運動をおこしたと言われています。このため、津波の周期は数分から数10分と長く、また津波が1回だけでなく数回にわたって押し寄せて来ることもあり得る訳です。



津波の速度は、水深の平方

根に比例する($v \propto \sqrt{gh}$ 、hは水深)、仮に駿河湾の入り口の水深3000m付近では、時速620kmの速さになり、下田湾の入り口付近では水深が約45mであるから76km、下田港内では36kmと急激に速度が遅くなる。このため、津波の波形は岸に近づくにつれて押し縮められることになり、次第に波高が大きくなります。この波高の変化は水深の4乗根に反比例して増幅されます。下田市に大きな被害をもたらした安政津波では沖合いの波高が約2.8m下田港内では安政津波の検証実験の結果最大7.8mに達しています。津波は水深の深いところで速く、浅いところで遅いという性質があるため沿岸部では津波の峰線は海岸線と平行になる傾向があります。また、津波は進行を妨げる島や岬があっても、音と同じように容易に障害物を回り込むことが出来ます。

津波の防災施設としては、防潮堤と津波防波堤が思い浮かぶ。昨年7月12日に200人を越す犠牲者を出した北海道南西沖地震では、「港の防波堤は破壊されたが市街地は津波の直撃を免れた」、「漁港の防波堤が一時的に大波をブロックして人家への衝撃を和らげた」、「離岸堤があるとこ

て被害を最小限に食い止めた。等防波堤の津波防止効果が大きく報道されました。



下田港

最後に津波に対する心得をひとつ

「強い地震(震度4程度以上)を感じたとき又は弱い地震であつても長い時間ゆっくりとした揺れを感じたときは、直ちに海浜から離れ、急いで安全な場所に避難する。津波は繰り返し襲ってくるので、警報・注意報解除まで気をゆるめない。」(次長 宮下俊明)

夏期実習を終えて

広島大学 高原正樹

夏期実習を終えて、本当にいい所に来ることができたなと思います。富士山と海の見える環境もさることながら、事務所の皆さんの家族的なやさしさのもとで、自分よがり

かも知れませんが、大変有意義な4週間を過ごすことができました。

今回の私の仕事は、新興津地区の静穏度計算をすることでした。全くと言っていいほど知らないことばかりでしたが、工務課の人達の指導のおかげで、報告書としてまとめることができました。また、現場見学も何度か連れて行っていただき、非常に良い勉強になりました。

最後になりましたが、所長をはじめ事務所の皆さんには大変ご迷惑をおかけしましたが、とても貴重な経験をさせていただき、深く感謝しております。ありがとうございます。



☆高原正樹

昭和48年7月生
東広島市西条町 在住
広島大学工学部3年生

工場だより

御前崎工場

★アメリカの高校生ら

御前崎港見学



8月2日、アメリカカワシントン州ケルソー市の高校生10名と、相良町の中学・高校生10名が当工場の監督測量船「ふじ」に乗船し、御前崎港及び周辺を海上より見学しました。アメリカのケルソー市と相良町は、数年前から交流が行われており、今回相良町に半月程度ホームステイし交流を深めています。

船上では、互いに記念写真、ビデオを撮ったり、波しぶきを楽しんだりしていました。

8月25日には、地元御前崎町生涯学習の「仲よし水産教室」の児童(小4、6年)と父兄20名が、「ふじ」に乗船し、港内の見学と御前崎町の風景を楽しんでもらいました。

今後、「ふじ」乗船を通して港及び海に対する理解を深めて頂くよう機会ある毎に、地域の皆様に働きかけていきたいと考えています。

櫻井日出伸

◆清水の史跡④◆

▼神明山古墳群

静岡バイパスを東名清水インターから東へ向かい、県道清水インター線との交差点近くに神明神社があります。古墳群(清水市袖師町22-68)は、この神社の裏手の標高27mの独立した小高い丘「神明山」の頂上から斜面にかけて計4基が確認されています。

神明山の山頂に登ると、右手に一段と高くなった所があり、ここが1号墳の後円部に当たります。1号墳は全長約70mの前方後円墳で、5世紀前半(古墳時代前期)の築造と



4号墳

考えられます。方格規矩四神鏡が出土した2号墳(方墳)は、明治時代の初めに破壊されています。また、3号墳(前方後円墳、全長78.2m)は、県道建設の際発見されました。

4号墳は、神社右手の道を登って行くと、右側に幅1.9m全長0.5mの横穴式石室が開口して保存されています。昭和40年の秋、建設工事のとき偶然発見されたもので、同年発掘調査が行われ、甲冑、馬鈴、鉄刀などが出土しました。7世紀前半(古墳時代後期)の築造と推定されます。出土品は古墳近くの東亜燃料クラブハウスに展示されています。

管内の動き

- 9月 9日 港湾利用者懇談会「御前崎」
- 26日 第8回清水港みなと色彩計画推進協議会

10月

- 3日 東海地区港湾整備促進大会
- 25日 第五港湾建設局設置30周年記念式典 [名古屋]
- 31日 港湾関係市町村長懇談会 (伊豆地区) [熱海]

11月

- 7日 ミクロナシア研修生清水港見学
- 18日 港湾関係市町村長懇談会 (静岡地区) [静岡]
- 21,22日 管内主管部長会議 [熱海]